

# 第三回 21世紀統合医療フォーラム

## -心身医学と一人称のからだの出会い-

「21世紀統合医療フォーラム」は、西洋近代医学の枠組みに対する、根本的な視点の転換を前提とする統合医療の実践に、東洋と西洋の「一人称のからだ」の探求(※)がどのように貢献できるか、その可能性を探ることを目的に開催されます。心身医学に従事する医療者や、ホリスティックな看護、介護、心理療法の専門家が、日本でされる優れた「一人称のからだ」の探求の実践を自ら体験し、その体験を踏まえて、患者や医療者自身の「身」にアプローチするうえでの様々な問題点、あるいは今後そうしたアプローチを医療現場に導入して行くために何をすべきかについて2日間にわたって、対話を行います。

立命館大学、京都文教大学に引き続き、関西大学で行うこの第三回では、これまでの対話を踏まえ、改めて一人称のからだとは何かを明確にし、欧米で生まれたソマティクス・ボディワークが日本で果たす役割について議論していきます。また、摂食障害の治療を中心に、一人称のからだと関係性についての議論を通じて、心身医療の現場で一人称のからだの実践がどのような役割を果たせるかも探っていききたいと思います。

(※)「一人称のからだ」の探求=：動きや感覚、呼吸などを通し、自らの心身を内側から探るアプローチの総称。西洋では、Somaticsと呼ばれる。

**日時：** 2009年12月5日(土)午後1時～午後6時 (終了後 懇親会)  
6日(日)午前10時～午後5時30分

**会場：** 関西大学千里山キャンパス (阪急千里線 関大前駅5分)

**対象：** 医療者・心理職など対人援助に携わっておられる専門家(定員80名)

**参加費：** 無料 (但し 懇親会費 3000円)

### シンポジウム：

#### I 「一人称のからだと関係性：摂食障害治療の現場から」

問題提起： 山岡昌之 (国家公務員共済組合連合会九段坂病院 副院長)  
シンポジスト： 富士見ユキオ (富士見心理面接室)  
司会： 中井吉英 (関西医科大学名誉教授、関西大学客員教授)

#### II 「一人称のからだ」と「身」：ソマティクス/ボディワークは日本にどのように根付いていくのか？

問題提起・司会： 村川治彦 (関西大学文学部准教授)  
シンポジスト： 片桐ユズル (日本アレクサンダー・テクニーク協会)  
小原仁 (コハラワークス 代表)  
鎌田麻莉 (編カンパニー 代表)

### ワークショップ提供者 (現在ご参加が確定している方々)

アレクサンダーテクニーク	片桐ユズル (日本アレクサンダー・テクニーク協会)
操体法	北村翰男 (奈良操体の会)
バイオインテグラル・サイコセラピー	小原仁 (コハラワークス)
エサレン®ボディワーク	鎌田麻莉 (編カンパニー)
プロセス指向心理学	富士見ユキオ (富士見心理面接室)
バイオフィードバック	神原憲治 (関西医科大学)
マインドフルネスアプローチ	竹林直紀 (ナチュラル心療内科クリニックTAKEBAYASHI)
フォーカシング	池見陽 (関西大学臨床心理専門職大学院)
フェルデンクライスメソッド	藤井里佳 (フェルデンクライスウエスト ジャパン)
ヨーガ	山本和美 (関西医科大学)

お問い合わせ・お申し込み：  
関西大学身体運動文化専修  
担当： 村川 治彦

[http://east-westdialogue.org/09forum\\_index.htm](http://east-westdialogue.org/09forum_index.htm)

ファックス： 06-7492-6371 メール： [forum@east-westdialogue.org](mailto:forum@east-westdialogue.org)